

特殊セメントの分野を大きくリードする

エレホン

エレホン

ソフテックEVA

EREWHON

水硬性塗膜防水材

ソフテックEVA

☆ はじめに

エレホン・ソフテックEVAは、速硬性セメント粉体と特殊高分子エマルジョン(EVA系)を組み合わせた水硬性塗膜防水材です。
硬化が早く、硬化後の塗膜は防水性・対候性・亀裂追従性に優れ、RC構造物の屋上防水やベランダ防水等に適しています。

☆ 特徴

- ◎ 水は透さず、空気もほとんど透さないため、コンクリートの中性を抑止し各種RC構造物の耐用年数を延長します。
- ◎ 速硬性セメントの使用により冬場でも硬化が早く、工期の短縮が可能です。
- ◎ コンクリートやモルタルはもちろん、各種下地との接着性に優れています。
- ◎ 有機溶剤による人体への影響や、火気による火災、爆発の心配がありません。

☆ 基本配合

ソフテックEVA	粉体	樹脂	水
	13kg	18kg	0~0.8kg

☆ 塗膜物性

項目		試験内容		
		伸び (%)	強度 (N/mm ²) [kg/cm ²]	
引張試験	試験温度	-10℃	3	3.19 [32.53]
		20℃	145	1.75 [17.84]
		60℃	160	0.81 [8.3]
引き裂き強さ (N/cm)		115.0		
透水量 (ml)		0.0		
比重		1.17		

※引張試験は、JIS A 6021に準じて行った。

☆ 接着強度

下地	条件	接着強度	下地	条件	接着強度
コンクリート	乾燥	1.6 ^{※1}	ALC板	乾燥	0.8 ^{※2}
歩道板		1.6 ^{※1}	磁器タイル		1.3 ^{※1}
鉄板		1.5 ^{※1}	エポキシ樹脂		1.5 ^{※1}
スレート板		1.2 ^{※2}	珪カル板		0.7 ^{※2}

※1 ソフテックEVA内部破壊

単位(N/mm²)

※2 下地破壊

☆ 荷姿

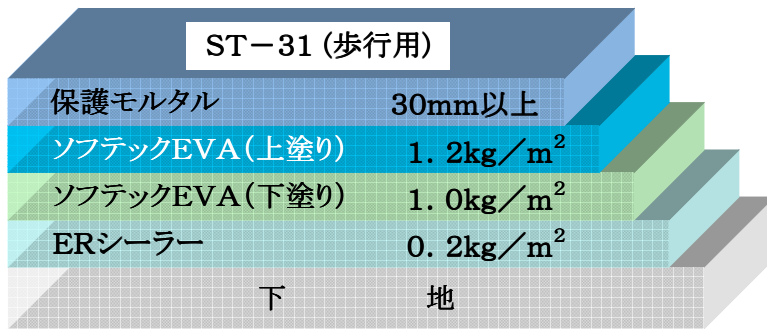
品名	荷姿
ソフテックEVA	粉体13kg(袋)・EVA系エマルジョン18kg(缶)
ERシーラー	18kg(缶)、4kg(ポリ容器)
STクロス	101m×104.2cm
STトップ	16kg(缶)(グリーン・グレー・ブラウン・シルバー)

☆ 標準工法

	工法	工法概要
クロス無し	ST-31 (歩行用)・・・ ベランダ、トイレ、外部廊下	塗り厚み 1.8mm 保護モルタル仕上げ
	ST-32 (非歩行、軽歩行用)・・・ 屋上	塗り厚み 1.8mm STトップ仕上げ
クロス入り	ST-41 (歩行用)・・・ ベランダ、トイレ、外部廊下	塗り厚み 1.8mm 保護モルタル仕上げ
	ST-42 (非歩行、軽歩行用)・・・ 屋上	塗り厚み 1.8mm STトップ仕上げ

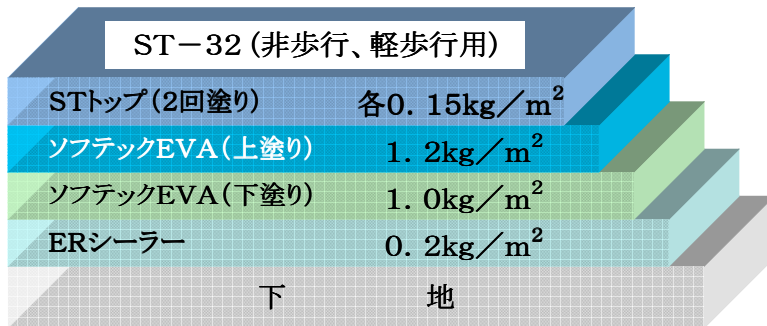
☆ 仕様図

..... クロス無し



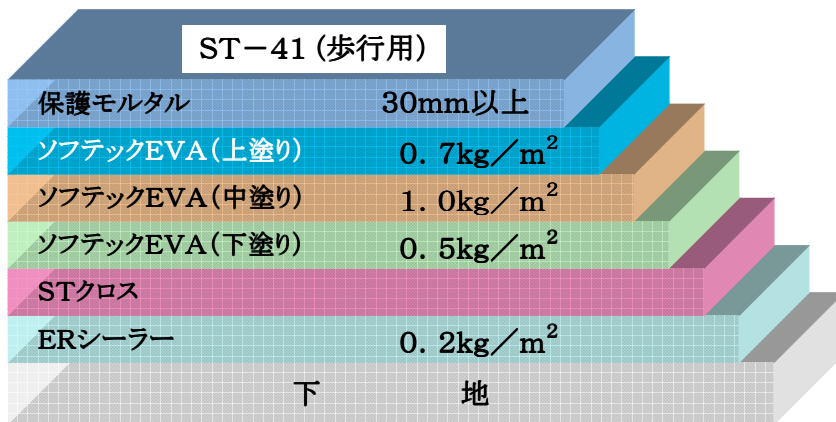
施工間隔

2～5時間
2～5時間
1～2時間

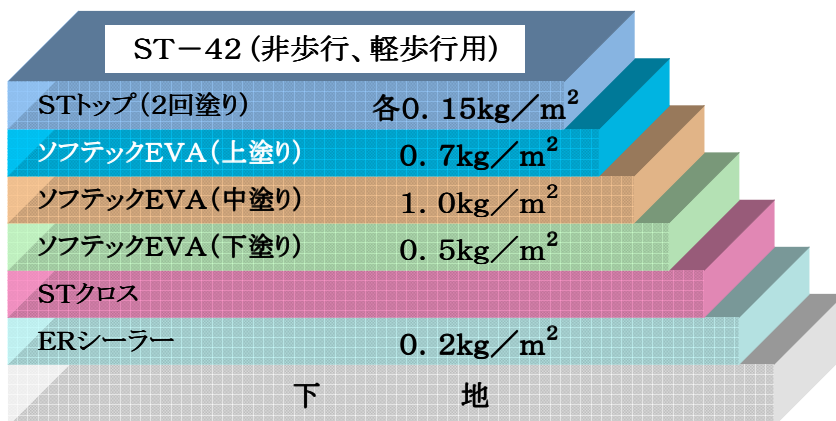


30分～1時間(STトップ2回目)
2～5時間
2～5時間
1～2時間

..... クロス有り



2～5時間
2～5時間
2～5時間
1～2時間



30分～1時間(STトップ2回目)
2～5時間
2～5時間
2～5時間
1～2時間

☆ 施工要領

①下地の清掃

脆弱部や付着物を除去し、ひび割れ等は別途処理を行う。

②素地調整

下地に不陸を伴う場合、素地調整を行う。

不陸1mm以内	・・・	A1プライマー
不陸1～3mm	・・・	A3プライマーシゴキ用
不陸2～10mm	・・・	A3プライマー
不陸10mm以上	・・・	フィックスシリーズ各種

③吸水調整

ERシーラー1重量部に対し水1.5重量部を容器に入れ、よく攪拌する。
ローラーや刷毛などを用いてムラなく塗布する(混合液で $0.2\text{kg}/\text{m}^2$)。
塗布後1時間以上且つ指触乾燥した後、ソフテックEVAを塗布する。

④ソフテックEVA塗布

EVA系エマルジョン18重量部に対し、ソフテックEVA粉体13重量部及び、水0～0.8重量部の割合でハンドミキサーを用いてよく混練する。
コテやローラーで施工面に塗布する。
2回塗りを行う場合は、2～5時間養生後、1回目と同じ手順で行う。
乾燥が早い為、一度に使用できる量を混練して下さい。
それでも乾燥が早い場合は、硬化遅延剤を使用して下さい。

・STクロスを貼る場合

STクロスを裁断、固定し、ソフテックEVAを $0.5\text{kg}/\text{m}^2$ 塗布する。(下塗り)

出隅、入隅、立ち上がり、役物の部分は小さい刷毛を用いて塗布する。

下塗り硬化後、ソフテックEVAを $1.0\text{kg}/\text{m}^2$ 塗布する。(中塗り)

中塗り硬化後、ソフテックEVAを $0.7\text{kg}/\text{m}^2$ 塗布する。(上塗り)

上塗り硬化後、用途に応じて保護モルタル(30mm以上)又は、STトップ2回塗り(各 $0.15\text{kg}/\text{m}^2$)を塗布する。

・STクロスを貼らない場合

ソフテックEVAを $1.0\text{kg}/\text{m}^2$ 塗布する。(下塗り)

出隅、入隅、立ち上がり、役物の部分は小さい刷毛を用いて塗布する。

下塗り硬化後、ソフテックEVAを $1.2\text{kg}/\text{m}^2$ 塗布する。(上塗り)

上塗り硬化後、用途に応じて保護モルタル(30mm以上)又は、STトップ2回塗り(各 $0.15\text{kg}/\text{m}^2$)を塗布する。

⑤保護モルタル施工又はSTトップ塗布

・保護モルタルを施工する場合

2～5時間養生し、保護モルタルを30mm以上打設する。

・STトップを塗布する場合

2～5時間養生し、STトップをローラーや刷毛で塗布する(原液換算で $0.15\text{kg}/\text{m}^2$)。

30分～1時間養生し、再度STトップを塗布する(原液換算で $0.15\text{kg}/\text{m}^2$)。

STトップ塗布後、24時間以上養生する。

STトップの水希釈比は、グリーン・グレー・ブラウンは5～10%、シルバーは2～5%です。